

科目名 (科目番号)	検査管理運営総論 (時間割参照)	教員名 山口 孝一	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	月曜日5限	
授業概要	臨床検査業務を円滑に遂行するためのマネジメントについて学ぶ。臨床検査室の役割と使命、組織構成、各種業務と各種管理の視点を踏まえて、効果的・効率的に検査業務を進めることの重要性に対して理解を深める。						
目的・目標	目的:臨床検査室で行われているマネジメント活動を理解する。 目標:臨床検査業務に関わる法令、組織体制、具体的な運営方法などについて詳細に説明できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床検査の意義	到達目標:臨床検査の意義、重要性について理解する。 学習内容:臨床検査に対する、臨床医からのニーズ、患者からのニーズ、社会からのニーズを整理し、医療および予防医学と健康診断における臨床検査の位置づけを学ぶ。				
	2	検査管理の概念	到達目標:臨床検査室が保つべき品質保証の体系について理解する。 学習内容:医療機関における臨床検査室、外部の衛生検査所(検査センター)の役割を学び、各施設における検査業務の管理の在り方、病院機能評価やISO15189の意義まで広く学修する。				
	3	検査部門の組織と業務	到達目標:現代的な臨床検査室の組織と運営について理解するとともに、将来の業務形態について考えをまとめる。 学習内容:検査体制の歴史的な変遷から現在の新しい業務形態までを学び、検査室の組織体制や業務内容の特徴を学修する。				
	4	検査部門の管理と運営(1)	到達目標:臨床検査室の実際的なマネジメントについて理解する。 学習内容:検査実務の管理、人事管理、検査機器管理、物品管理について学ぶ。				
	5	検査部門の管理と運営(2)	到達目標:臨床検査室の実際的なマネジメントについて理解する。 学習内容:情報管理、財務管理、リスクマネジメント、安全管理について学ぶ。				
	6	検査の受付と報告	到達目標:臨床検査業務の入口と出口について、各医療職との関わりを含め、そのマネジメントの重要性を理解する。 学習内容:検査の受付、前処理、結果報告の実際について学ぶ。				
	7	精度保証	到達目標:臨床検査の信頼性評価と認証制度、精度を維持、改善するための活動全般を理解する。 学習内容:計測の誤差論・外部評価と認証評価・トレーサビリティについて学ぶ。				
	8	検査情報の活用・生涯教育	到達目標:検査データの適正な二次的利用について理解するとともに、臨床検査技師としてのポリシー、生き甲斐等について考えをまとめる。 学習内容:臨床検査データの二次的利用に焦点を当て、チーム医療での活用、臨床疫学や医学研究への貢献について学ぶ。また、臨床検査技師のキャリアパスについて学修する。				
成績評価の方法・基準	定期試験 (100%)						
教科書	検査総合管理学 配布プリント		高木康・三村邦裕・編		医歯薬出版		
参考図書							
教員からのメッセージ	組織が活動するとき、様々なマネジメントが必要になります。この科目では、臨床検査分野に限らず、あらゆる業種に通用する内容も含めて履修します。 医療施設で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						